

令和8年度 第2回美博文化講座へのおさそい

(柳田國男記念伊那民俗学研究所共催事業)

中部高地の富士講と御山登拝

中部高地から富士を眺められるところは、山岳部を除くとごく限られています。このような中であっても、富士に寄せる信仰、富士信仰は各地に着実に根付いています。富士の山もとの神社などで、小正月の筒粥の中で道者（登拝者）の多寡が占われるように、富士へ参詣する道者を待ち望んでいました。

この地の富士講は、江戸で隆盛を極めた富士講（江戸富士講）とは異なる独自の展開を示しています。

北面の甲斐側（山梨県）では、中部高地からの道者が川口（富士河口湖町河口）を中継点とし、ないしは吉田（富士吉田市上吉田）を登拝拠点に、代参や集団登山の形をとって夏山にやってきました。

これらの信仰を布教した富士御師や修験などの活動を紹介していただきます。



下諏訪町下の原の敬愛社

※画像は講師提供

令和8年5月24日（日） 午後1時30分～3時00分

講師：堀内 真 氏（山梨県立富士山世界遺産センター学芸員）

会場：飯田市美術博物館講堂

定員：60名 ※予約先着順

受講料：無料

申込方法：お電話（0265-22-8118）にてお申し込みください

お申し込みの際には、1）希望する講座名、2）氏名、

3）電話番号 をお知らせください

○受付開始：5月8日（金）～（受付時間は9：30～17：00）

○FAX、メールでの受付はできません

○キャンセルのご連絡はお早めをお願いいたします

小室浅間神社の筒粥
（山梨県富士吉田市）



●同時事業のお知らせ

講演後、15時40分から同会場において、柳田國男記念伊那民俗学研究所会員による研究発表①櫻井弘人「遠山・坂部の浅間社と霜月神楽」、②松上清志「飯田下伊那における富士山信仰」、③粟谷真寿美「飯田の不二講」が行なわれます。あわせてご参加ください。

（申込・問い合わせ先）

飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655-7

TEL0265-22-8118 FAX0265-22-5252

<https://www.iida-museum.org/>

 iida city museum
飯田市美術博物館

